■竹越与三郎 ジャーナリスト、歴史家、政治家。ベストセラー「二千五百年史」はじめ在野を代表する名著を遺した。

たけこしよさぶろう

薩摩藩士密航1865＝ 武蔵国本庄で次男に生まれ、新潟に出る。

明治維新・・・1868＝ 3歳：

明治6年政変 1873＝ 8歳：

佐賀の乱・・・1874＝ 9歳：

明治14年政変1881＝16歳：

岩倉具視没・1883＝18歳：伯父の竹越家を継ぐ。上京して中村正直の{同人社}や福沢諭吉の{慶応義塾}に学び、

秩父事件・・・1884＝19歳：ボース著「独逸哲学英華」を訳す。

慶応義塾を卒業後、福沢の{時事新報}に入るも官民調和の論調に不満で退社。

小崎弘道の勧めで群馬前橋教会に住み、英語塾を開くとともに、受洗。安中の湯浅治郎の紹介で、徳富蘇峰を知り、{国民新聞}の発刊に協力して{民友社}に入り、

帝国憲法発布1889＝24歳：

帝国議会始・1890＝25歳：*{国民新聞}創刊とともに政治面を担当の一方、「格朗究(クロムウェル)」をまとめて史論家の力量も示し、

足尾鉉毒始・1891＝26歳：「新日本史」を刊行して、明治維新の革命としての意義を強調した。

大本教・・・1892＝27歳：

この間、陸奥宗光、西園寺公望らの知遇を得、

日清戦争始・1894＝29歳：<日清戦争>とともに国粹主義化した蘇峰と決別、

白馬会・・・1896＝31歳：

退社し、西園寺らの勧めで{世界之日本}の主筆となる一方、「二千五百年史」を刊行し、民間史学を代表する歴史家として名声を博した。

ピノチオ国産化・1900＝35歳：*西園寺文相の秘書となり、政界に進出。

田中正造直訴1901＝36歳：

教科書疑獄・1902＝37歳：衆議院議員選挙に新潟から立候補して当選、政友会に所属し、以後連続5回当選。

日露戦争終・1905＝40歳：

韓国併合・・・1910＝45歳：「南国記」。新渡戸稲造らと殖民学会を創立。

明治天皇没・1912＝47歳：

21ヶ条要求・1915＝50歳：*衆議院議員落選後、本野一郎らと{日本経済史編纂会}を設立し、「日本経済史」の刊行を開始、

ベルサイユ条約・1919＝54歳：

大暴落・・・1920＝55歳：大著「日本経済史」全8巻が完結、日本の経済史を詳述したものとして注目された。

原敬首相暗殺1921＝56歳：

水平社結成・1922＝57歳：宮内省の臨時帝室編修局御用掛となり、

関東大震災・1923＝58歳：貴族院の勅選議員に選任された。

共産党事件・1928＝63歳：

海軍軍縮条約1930＝65歳：西園寺についての伝記的著作「陶庵公」も、政治家西園寺の人間側面を活写した好著である。

満州事変・・・1931＝66歳：

日中戦争始・1937＝72歳：

大政翼賛会・1940＝75歳：枢密顧問官となった。

日米開戦・・・1941＝76歳：

敗戦・・・1945＝80歳：東京大空襲で原稿類を焼失し、

新憲法公布・1946＝81歳：

朝鮮戦争始・1950＝85歳：没した。